

# 平成23年度国債管理政策の概要

## 国債発行規模

- 平成23年度の国債発行総額は169.6兆円、カレンダーベース市中発行額(入札による市中への発行額)は144.9兆円となり、いずれも3年連続の増額。

## 平成23年度の主な施策

### ○ 超長期債市場の育成

- 生保・年金等の機関投資家の長期運用ニーズの増大を踏まえ、超長期債の流動性の向上にも配慮して、30年債・40年債の発行総額を増加。

- カレンダーベース市中発行額の平均償還年限は、7年9ヶ月(対平成22年度当初比+3ヶ月)。

### ○ 個人投資家の国債保有の促進

- 個人向け国債の商品性の改善
  - ・ 低金利時に仕上がり金利が低くなりすぎないように変動10年の金利設定方式を見直し(基準金利-0.8% ⇒ 基準金利×0.66)。
  - ・ 固定5年について、中途換金禁止期間を変更(2年 ⇒ 1年)し、個人向け国債の中途換金禁止期間等を統一。

### ○ 国債整理基金の取崩し等による買入消却

- 特別会計仕分けの結果を反映し、国債整理基金の取崩し等を財源とした買入消却を総額3兆円程度実施。

(注1)平成22年度においても、国債整理基金の取崩しを財源とした買入消却を0.8兆円程度実施。

(注2)平成23年度については、財政投融资特別会計におけるALM高度化のための買入消却を含む。

## 平成23年度国債発行予定額

### 〈発行根拠法別発行額〉

区分	22年度(当初)	23年度(当初)	増減
新規財源債	44.3兆円	44.3兆円	▲0.0兆円
借換債	102.6兆円	111.3兆円	+8.7兆円
財投債	15.5兆円	14.0兆円	▲1.5兆円
国債発行総額	162.4兆円	169.6兆円	+7.2兆円

### 〈消化方式別発行額〉

区分	22年度(当初)	23年度(当初)	増減
カレンダーベース市中発行額	144.3兆円	144.9兆円	+0.6兆円
うち40年債	1.2兆円	1.6兆円	+0.4兆円
30年債	4.8兆円	5.6兆円	+0.8兆円
個人向け国債	2.0兆円	2.0兆円	—
前倒し債発行減額による調整分	0.0兆円	6.4兆円	+6.4兆円
その他	16.1兆円	16.3兆円	+0.2兆円
総額	162.4兆円	169.6兆円	+7.2兆円

(参考)行政刷新会議「事業仕分け」評価結果 平成22年10月28日  
国債整理基金特別会計 制度のあり方について(抄)

○積立金の取扱い:わが国の国債への信認向上につなげるべく、オペレーションリスクに十分配慮しつつ、繰上償還に充てることも含めた検討を行う